

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 2 月 23 日 (2017.2.23)

【公表番号】特表 2014-528999 (P2014-528999A)

【公表日】平成 26 年 10 月 30 日 (2014.10.30)

【年通号数】公開・登録公報 2014-060

【出願番号】特願 2014-533679 (P2014-533679)

【国際特許分類】

C 08 G 18/00 (2006.01)

C 08 G 101/00 (2006.01)

【F I】

C 08 G 18/00 J

C 08 G 101:00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 29 年 1 月 17 日 (2017.1.17)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0034

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0034】

典型的には、ポリウレタンゲル（C）は、単層軟質フォーム中に均質に分散されていないが、そうであってもよい。換言すれば、ポリウレタンゲル（C）は、典型的には単層軟質フォーム中で不均一に粒分散されている。1つの実施態様において、ポリウレタンゲル（C）は、単層軟質フォームから区別される。前記単層軟質フォームは、典型的にはポリウレタンゲル（C）から形成され且つ単層軟質フォーム中に分散された複数の凝集ゲル基材を含有する。「ゲル基材」との用語は、典型的には一連のゲル粒子および/またはゲル分子の集合を記載する。「凝集された」との用語は、典型的には、ゲル基材が集合された群で配置され、且つ単層軟質フォーム中のいたるところでランダムに分散していないことを記載する。ポリウレタンゲル（C）および/またはゲル基材は、共に凝集されていてよく、且つ、ゲル、ゲル基材および/または凝集物が、単層軟質フォーム中に渦巻き型のパターンで分散していてよいと考えられる。選択的に、ポリウレタンゲル（C）、ゲル基材および/または凝集物は、さらに、不均質なパターン、うず型パターン、リボン型パターン、マーブル型パターン、スパイラル型パターン、コイル型パターン、カール型パターン、ツイストパターン、ループパターン、ヘリックスパターン、サーペントインパターン、シヌソイドパターン、巻きパターン、および/またはランダムパターン、およびその種のものとして記載され得るパターンで、単層軟質フォーム中に分散していてよい。選択的に、ポリウレタンゲル（C）、ゲル基材、および/または凝集物は、幾何学的および/または左右対称のパターンで、勾配のあるパターンで、および/またはブロックのパターンで、およびその種のもので、単層軟質フォーム中に分散されていてよいと考えられる。1つの実施態様において、ポリウレタンゲル（C）、ゲル、ゲル基材および/または凝集物は、単層軟質フォームの特定の領域内に配置され、単層軟質フォームの他の領域には存在しない。適したパターンの1つの限定されない選択肢を図1に示す。